

改善報告書

令和元年 7 月 1 2 日

1. 大学名：北海道情報大学

2. 認証評価実施年度：平成 2 8 年度

3. 「改善を要する点」の内容

基準項目：2－1

○経営情報学部先端経営学科、医療情報学部医療情報学科、通信教育部の経営情報学部経営ネットワーク学科及びシステム情報学科の収容定員充足率が 0.7 倍未満であるため、改善が必要である。

4. 改善状況及び結果

基準項目 2－1 について

<経営情報学部先端経営学科>

先端経営学科では、平成 29(2017)年度から定員充足に向けて全教員が危機意識を共有し、それまで取り組んで来た広報活動に加えて各自が充足率改善に総力で取り組んだ。平成 29(2017)年度は「高校生ビジネスプランコンテスト」や「在学生の出身高校担任を通じた出前授業」、「大学祭への学科出展」など新たな活動も実施した。ただ、これらの取り組みは即効性があるものでもなく、パンフレットや Web ページの理系色イメージが定着しており、平成 30(2018)年度の入学者数はあまり伸びず、収容定員充足率も改善できなかった。そこで平成 30(2018)年度は以下の即効性ある入学者増加対策を行い、平成 31(2019)年度の入学者は入学定員を充足した（エビデンス 2-1-01）。

- (1) 広報室は、直接接触できた高校生や高校訪問の際には、情報系ではなく、一般的な経営系と同じで文系の学科であることを強調して説明した。
- (2) OG/OB インタビューのチラシを作成し、文系アピールを広報活動全般に活用した。
- (3) 出前授業など教員の広報活動を積極的に行い、多くの高校生にアピールを行った。

また、退学・除籍率の改善対策については、カリキュラムの見直しや評価方法、動機づけの継続などに取り組んできたが、平成 30(2018)年度については特に以下の対策を講じ、退学・除籍率は大幅に改善した（エビデンス 2-1-02）。

- (1) 通学科目に加えて、時間割上で重複している科目を共に履修する機会を提供するために通信教育科目の履修を認めた。
- (2) 学習意欲の維持のために専門科目の 1, 2 年次への配当を増加した。
- (3) 1 年生の研究室訪問による専門教員との交流を平成 29(2017)年度から継続した。
- (4) 2 年生の少人数プロジェクトのテーマを、地元の観光振興といった地域課題対策提案など実践的な内容にした。さらに地元農家訪問や地域調査、自治体職員による評価や交流などを行い、動機づけを行った。

以上の取り組みの結果、入学定員を平成 29(2017)年度より従来の 70 名から 40 名に減らしたこともあって、平成 31(2019)年度の入学定員は充足し、収容定員充足率は平成 31(2019)年度初頭に 0.7 倍の直前まで回復している（エビデンス 2-1-01、エビデンス 2-1-03）。

これは、学生募集の際の文系の学科であることの説明が効果的であったのではないかと考えられる。OG/OB インタビューのチラシも文系アピールの広報活動に効果があったのではないかと思われる。また、大手私立大学の入学定員厳正化や入試制度の改訂といった外部環境を考えると、大学入試センター試験利用入学試験や一般入学試験の合格者数増加の傾向が継続するものと見込まれる。

平成 31(2019)年度の今後の計画としては、退学・除籍率改善の対策は継続することとし、パンフレット、Web ページの文系アピール改変を行い、「高校生ビジネスプランコンテスト」など、これまでの取り組みを続けることで、継続的な入学定員充足が期待でき、結果として収容定員充足を達成・維持できるものと見込んでいる。

<医療情報学部医療情報学科>

医療情報学科では収容定員充足に向けて、数々の取り組みを行ってきている。

学科・専攻について見直しを行い、これまでの募集定員 80 名に対し、平成 29(2017)年度学生募集より、メディカルヘルスケア専攻（平成 30(2018)年度より診療情報管理専攻に名称変更）及び臨床工学専攻の 2 専攻に分け、入学定員をそれぞれ 40 名の計 80 名とした。臨床工学専攻は今年度で 3 年目を迎え、令和 3(2021)年 3 月に初めての卒業生を輩出する。

学生募集関連として以下の取り組みを行っている。

- (1) 診療情報管理専攻では、出前授業やオープンキャンパスなどを通じて病院の診療に必要な「医療事務・病院事務、診療情報管理」を中心にその仕事内容など、また、健康情報科学コースでは、「食と健康と情報」を中心に魅力と将来性をアピールしている。
- (2) 臨床工学専攻では、出前授業、オープンキャンパスとともに各種イベント参加などを通じて本学に設置されている最新の医療機器などを示し、他の養成校との違いを強調している。

上記の取り組みにより、平成 31(2019)年度では医療情報学科として入学定員の 7 割まで回復した（エビデンス 2-1-01）。

また、学習面では、学力不振による退学者ゼロを目標とし、入学者全員が卒業できることを目指した、以下の取り組みを行っている。

- (1) 医療情報学科の専門科目は 2 専攻ともに学科推奨資格と関連しており、以下の資格試験対策を行っている。

- ① 診療情報管理専攻診療情報管理コースでは診療情報管理士認定、診療報酬請求事務能力認定、医療情報技師資格を推奨資格と位置づけ、学力向上強化を目的に平成 28(2016)年 4 月より「医療試験対策支援室」を設置し、学生個別の試験対策の立案と指導を実施している。その結果、平成 29(2017)年度入学生の 2 年次

課程修了時点で、資格受験率がほぼ 100%であった。

②診療情報管理専攻健康情報科学コースでは健康食品管理士資格を推奨し、課外時間において試験対策勉強会、模擬試験の実施、受験予定者と合格者との交流の場のセッティング等資格取得の環境提供を実施している。

③臨床工学専攻では、1年次に新たに「臨床工学基礎セミナーⅠ」、「臨床工学基礎セミナーⅡ」を開講し、国家試験に向けた効果的プログラムを遂行している。2年次からは第2種ME技術実力検定に向け多くの基礎知識の修得のため、課外講義を実施している。4年次には臨床工学技士国家試験取得に向けて対策講座を予定している。

(2)臨床工学専攻で開講している「臨床工学基礎セミナーⅠ」、「臨床工学基礎セミナーⅡ」では、卒業までの課程において、勉学意欲と医療人を目指す高い意識が最も求められる要素として早期から医療人の意識醸成を図るため、実務経験豊富な臨床工学技士有資格教員が医療系学生に求められる生活態度、授業態度、授業出席率管理等の指導を行っている。

以上の取り組みの結果、入学者数は徐々に増加し、退学・除籍率は波はあるものの改善傾向にあって、収容定員充足率は向上している（エビデンス 2-1-01、エビデンス 2-1-02、エビデンス 2-1-03）。

今後の取り組みとして、出前授業やオープンキャンパスなどで医療分野における IT エンジニアを目指すことができることも PR し、情報通信技術（AI、IoT、アプリ開発など）が医療分野で大いに役立つことを紹介して、情報系に興味のある高校生にとって医療情報学科が選択肢に入るように医療情報分野を強化した学生募集を行っていくとともに、これまでの取り組みについても、徐々にではあるが在籍者の増加に結びついていると考えられるので継続し、さらに高校生や保護者、高校教員に本学の魅力をアピールすることにより、入学定員充足ひいては収容定員充足達成を目指す。

<通信教育部 経営情報学部経営ネットワーク学科及びシステム情報学科>

通信教育部では経営情報学部経営ネットワーク学科及びシステム情報学科の収容定員充足のため、平成28(2016)年度以降以下の取り組みを行った。

(1) ネット出願の実施

平成28(2016)年度から入学志願者の一部に、また、平成29(2017)年度からはすべての入学志願者にネット出願を取り入れ、出願手続きの簡素化を図った。

(2) インターネットメディア授業(eラーニング)の拡充

インターネットメディア授業(eラーニング)は平成28(2016)年度は33科目であったものを、平成29(2017)年度は34科目、平成30(2018)年度は35科目と増やしており、学生の学習環境と利便性への配慮を行っている。

(3) インターネット試験の拡充

授業科目の評価のための試験を、従来机上でのみ行っていたものを、平成28(2016)年度からインターネット上で実施できるようにシステムを開発して、学

生へ提供している。対象科目数は、平成28(2016)年度：13科目、平成29(2017)年度：14科目、平成30(2018)年度：45科目、平成31(2019)年度：62科目となっている。

(4) ポータルサイトの機能強化

従来から運用していた学習ポータルサイトの機能強化を行い、スマートフォン等の情報端末を利用して、様々な学習活動や手続きを行えるようにし、学生の利便性の向上を図った。

①マイページ機能の導入

履修登録、科目試験受験申込、スクーリング・インターネットメディア授業受講申込、成績・学習履歴確認、課題提出、学習スケジュール管理 等

②配付物の電子化

学生便覧、講義概要、レポート課題集、機関誌 等

③学生宛連絡事項のメール及び電子掲示板化

以上の取り組みの結果、収容定員充足率は多少の波はあるものの、経営ネットワーク学科及びシステム情報学科ともに向上している（エビデンス2-1-04）。

今後はさらに学生募集のためにインターネットメディア授業(eラーニング)の拡充やインターネット試験の拡充の取り組みを継続して行う予定としている。

5. エビデンス（根拠資料）一覧

基準項目2-1の資料

- ・2-1-01 入学試験集計表（先端経営学科、医療情報学科）
- ・2-1-02 年度別 退学・除籍率（先端経営学科、医療情報学科）
- ・2-1-03 年度別 収容定員充足率（先端経営学科、医療情報学科）
- ・2-1-04 通信教育部 年度別 収容定員充足率